

科目名	視覚機能病態学 I 演習			分野・必選別・単位数	専門科目	選択	2単位
担当教員	◎講師 大鹿京子					科目ナンバー	T1C114
課程	博士前期	配当年次	2年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要	眼疾患の病態を学ぶ。(各論)						
授業の到達目標	①1年次の総論に続いて、個々の疾患概念をより深く学修する。 ②全身病の眼症状について学修する。						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	大鹿 京子	講師	各疾患のテキスト記述に従い、以下の疾患について学ぶ。 角膜・強膜疾患を説明できる。			
	2	大鹿 京子	講師	各疾患のテキスト記述に従い、以下の疾患について学ぶ。 ぶどう膜疾患を説明できる。			
	3	大鹿 京子	講師	各疾患のテキスト記述に従い、以下の疾患について学ぶ。 水晶体疾患を説明できる。			
	4	大鹿 京子	講師	各疾患のテキスト記述に従い、以下の疾患について学ぶ。 硝子体疾患を説明できる。			
	5	大鹿 京子	講師	各疾患のテキスト記述に従い、以下の疾患について学ぶ。 隅角の疾患・緑内障を説明できる。			
	6	大鹿 京子	講師	各疾患のテキスト記述に従い、以下の疾患について学ぶ。 網膜疾患を説明できる。			
	7	大鹿 京子	講師	各疾患のテキスト記述に従い、以下の疾患について学ぶ。 眼瞼疾患を説明できる。			
	8	大鹿 京子	講師	各疾患のテキスト記述に従い、以下の疾患について学ぶ。 涙器疾患を説明できる。			
	9	大鹿 京子	講師	各疾患のテキスト記述に従い、以下の疾患について学ぶ。 ドライアイを説明できる。			
	10	大鹿 京子	講師	各疾患のテキスト記述に従い、以下の疾患について学ぶ。 全身病と眼疾患について説明できる。			
	11	大鹿 京子	講師	各疾患のテキスト記述に従い、以下の疾患について学ぶ。 全身病と眼疾患について説明できる。			
	12	大鹿 京子	講師	各疾患のテキスト記述に従い、以下の疾患について学ぶ。 全身病と眼疾患について説明できる。			
	13	大鹿 京子	講師	各疾患のテキスト記述に従い、以下の疾患について学ぶ。 全身病と眼疾患について説明できる。			
	14	大鹿 京子	講師	各疾患のテキスト記述に従い、以下の疾患について学ぶ。 全身病と眼疾患について説明できる。			
	15	大鹿 京子	講師	各疾患のテキスト記述に従い、以下の疾患について学ぶ。 眼の加齢変化について説明できる。			
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	講義開始日に指示する。						
参考書	随時 指示する。						
成績評価の方法および基準	授業内課題を含む口頭試問80%、レポート20%						
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。 (ディプロマ・ポリシー3に相当する)						